

報告事項 4

愛知県幼児教育研究協議会の協議題について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成 26 年 4 月 14 日

義 務 教 育 課

< 協議題 > 幼児教育の充実に向けた保育者の資質と専門性の向上について

1 設定理由

(現 状)

- ・ 昨今の問題行動の低年齢化、家庭や地域の教育力が低下し、伝え合う力や人とかかわる力の不足、基本的な生活習慣の乱れなどの幼児の育ちが危惧され、人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性は一段と高まっている。
- ・ 幼稚園や保育所等では、特別な支援を必要とする幼児への支援や、長時間の預かり保育などの多様なニーズに応えるよう様々な努力をしているが、幼児教育にかかる課題は増加している。
- ・ 保育者の多忙化や勤務形態の多様化、さらに世代交代や非常勤講師の増加により、保育者が園内外において学び合う機会が減少し、幼児教育の質を維持していくことが難しくなっている。
- ・ 公立の幼稚園、保育所等との人事交流が行われているものの、幼稚園から保育所・こども園への移行や統廃合などが進む中、多くの保育者が、教育・保育の内容や指導方法について、幼稚園と保育所等における違いに戸惑いを感じている。

(社会の要請)

- ・ 少子化の進行や共働き世帯の増加に伴い、幼児を取り巻く環境が変化する中、子ども・子育て関連3法に基づく「子ども・子育て支援新制度」では、すべての子どもに「質の高い幼児期の学校教育・保育」を総合的に提供することを求めている。
- ・ 各市町村では、子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査が行われ、幼保連携型認定こども園の需要が増加していくことが予想される。
- ・ 「愛知の幼児教育指針」では、重点目標の一つに「保育者の資質と専門性の向上」を掲げ、保育者が教育・保育両方の理論と実践力を身につけることを求めている。

2 検討すべき課題

子ども・子育て関連3法成立の下、幼児教育を取り巻く新たな動きの中で、「質の高い幼児期の学校教育・保育」の実現を図るためには、幼稚園教育要領及び保育所保育指針により行われているそれぞれの教育・保育のよさを踏まえ、幼児期にふさわしい教育・保育の内容を明らかにしていかなければならない。そして、保育者は幼児期の特性を理解し、自らの資質と専門性を高めていくことが必要である。

そこで、次の内容について協議し、実効性のある方策を手引きにまとめ、幼稚園・保育所等及び関係部局に示していきたい。

幼児期にふさわしい教育・保育は、どうあるべきか。

これからの保育者に求められる資質と専門性を身に付けていくにはどのような手立てが必要か。